

**\* 演題名**

2 型糖尿病患者に対するトホグリフロジンの使用実態下における有効性と安全性の検討

**\* 抄録本文**

**【目的】**トホグリフロジンの使用実態下における有効性と安全性の検討を目的とした観察研究を実施中であり、今回、投与開始から3ヶ月後のデータを使用して予備的な解析を実施した。

**【方法】**本研究は多施設共同、オープン、単群の前向き観察研究である。従来治療でHbA1c6.0%以上の20歳以上の2型糖尿病患者のうち、SGLT2阻害薬を新規に使用する患者を組み入れた。

**【結果】**解析対象221例の平均年齢（標準偏差）は59.5(12.7)歳、男性の割合は67.4%、平均罹病期間は8.4(6.1)年であった。3ヶ月後のHbA1cの平均値（標準偏差）は7.0(0.8)%であり、有意に低下した（変化量:-0.44%,  $p<0.0001$ ）。3ヶ月後の体重の平均値（標準偏差）は72.7(15.8)kgであり、有意に低下した（変化量:-1.76kg,  $p<0.0001$ ）。有害事象は20例(9.1%)で報告された。

**【結語】**投与開始から3ヶ月後、HbA1cと体重は有意に低下した。12ヵ月後の観察期間終了時に最終解析を実施予定である。